



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東邦システムサイエンス

コード番号 4333 URL <http://www.tss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 宣夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 誠

TEL 03-3868-6060

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,124	—	171	—	175	—	108	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	15.87	—
23年3月期第2四半期	—	—

(注)23年3月期第2四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,619	3,791	57.3
23年3月期	6,454	3,819	59.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,791百万円 23年3月期 3,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	15.6	470	—	470	—	270	—	39.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	6,932,996 株	23年3月期	6,932,996 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	145,733 株	23年3月期	95,633 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,824,452 株	23年3月期2Q	6,897,393 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は平成23年4月1日付で連結子会社であった株式会社インステクノ及び株式会社ティエスエス・データ・サービスを吸収合併したことにより、平成24年3月期第1四半期決算短信より非連結となっております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の電力供給問題を受け、企業の生産活動はサプライチェーンが早期に正常化したものの停滞を余儀なくされ、個人消費も低迷するなど厳しい環境が継続いたしました。また、欧州の財政危機を中心とした海外経済の減速懸念、急速な円高進行とその長期化、株式市場の低迷、雇用情勢の停滞などの景気下振れリスクが加わり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社が属する情報サービス業界におきましても、国内企業のIT投資は、金融機関のソフトウェア投資が比較的堅調ではあるものの、本格的な回復には至っておらず、先行きの不透明感もあり投資への慎重姿勢による抑制傾向が続いております。

こうした経営環境のもと、当社は期初に連結子会社を吸収合併し、意思決定の迅速化や経営資源の集中と効率化を推進するとともに、営業部門を強化し、主要マーケットである金融業界を中心に、新規顧客の開拓、新規案件の獲得に向け積極的な営業活動に努めてまいりました。加えて、既存顧客に対しては継続的保守案件の受注確保及び潜在ニーズの発掘に注力した結果、証券系大規模システム、損害保険系システム統合案件の受託領域が順調に拡大いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、当社の主力としている金融系業務の中でも証券系及び生命保険系業務の受注が堅調に推移したことにより、売上高は当初の計画を上回り、4,124百万円となりました。利益面におきましては、一部のプロジェクトにおいて原価が増加したものの、増収効果により計画水準を維持し、営業利益は171百万円、経常利益は175百万円、四半期純利益は108百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①ソフトウェア開発

当社の中心的なビジネス領域である金融系業務の売上高は3,306百万円となりました。銀行系業務は311百万円、証券系業務は789百万円、生命保険系業務は752百万円、損害保険系業務は1,389百万円となりました。

金融系業務以外では、通信系業務が237百万円、生活関連サービス業務が227百万円となりました。

これらの結果、売上高は3,970百万円となりました。

②情報システムサービス等

主たる業務であるコンピュータ運用管理業務は堅調に推移し、売上高は154百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

当第2四半期会計期間における総資産は6,619百万円となり前事業年度末に比べ165百万円増加しております。これは主として、現金及び預金が999百万円、仕掛品が79百万円、のれんが132百万円増加し、売掛金が213百万円、関係会社株式が894百万円減少したことによります。また、負債合計は2,828百万円となり前事業年度末に比べ193百万円増加しております。これは主として、未払法人税等が109百万円、退職給付引当金が101百万円増加したことによります。純資産は3,791百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円減少しております。これは主として、四半期純利益108百万円計上による増加があったものの、剰余金の配当116百万円と自己株式の取得による18百万円の減少があったことによります。これらの結果、自己資本比率は57.3%となり、前事業年度末に比べ1.9ポイント減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、4,063百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は405百万円となりました。これは主な増加要因として、税金等調整前四半期純利益が196百万円、退職給付引当金の増加額が41百万円、売上債権の減少額が316百万円、主な減少要因として、たな卸資産の増加額が78百万円、仕入債務の減少額が93百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出4百万円、敷金の回収による収入24百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は134百万円となりました。これは配当金の支払額115百万円と、自己株式の取得による支出18百万円があったことによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績が概ね堅調に推移していることから、平成23年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,467	3,668,339
売掛金	1,319,853	1,106,051
有価証券	404,770	404,930
仕掛品	7,623	87,338
繰延税金資産	148,866	200,555
その他	63,617	58,887
貸倒引当金	△3,906	△3,316
流動資産合計	4,609,293	5,522,785
固定資産		
有形固定資産	46,582	43,610
無形固定資産		
のれん	—	132,848
その他	53,925	59,753
無形固定資産合計	53,925	192,602
投資その他の資産		
投資有価証券	75,731	73,718
関係会社株式	894,800	—
繰延税金資産	592,996	630,453
その他	183,681	174,056
貸倒引当金	△2,625	△17,456
投資その他の資産合計	1,744,584	860,772
固定資産合計	1,845,092	1,096,985
資産合計	6,454,386	6,619,771

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	658,909	569,227
未払金	80,064	15,985
未払費用	101,177	152,975
未払法人税等	25,794	135,681
賞与引当金	285,568	336,949
受注損失引当金	2,136	20,801
その他	56,054	80,603
流動負債合計	1,209,704	1,312,224
固定負債		
退職給付引当金	1,329,182	1,431,039
役員退職慰労引当金	96,414	85,267
固定負債合計	1,425,596	1,516,306
負債合計	2,635,301	2,828,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	531,902	531,902
利益剰余金	2,820,552	2,812,589
自己株式	△52,364	△71,053
株主資本合計	3,826,673	3,800,022
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,588	△8,782
評価・換算差額等合計	△7,588	△8,782
純資産合計	3,819,084	3,791,240
負債純資産合計	6,454,386	6,619,771

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,124,789
売上原価	3,469,266
売上総利益	655,522
販売費及び一般管理費	484,001
営業利益	171,521
営業外収益	
受取利息	556
受取配当金	1,288
保険事務手数料	591
その他	1,169
営業外収益合計	3,606
経常利益	175,127
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	85,384
特別利益合計	85,384
特別損失	
ゴルフ会員権評価損	7,571
抱合せ株式消滅差損	56,618
特別損失合計	64,189
税引前四半期純利益	196,322
法人税、住民税及び事業税	127,584
法人税等調整額	△39,534
法人税等合計	88,049
四半期純利益	108,272

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	196,322
減価償却費	7,521
のれん償却額	26,569
ゴルフ会員権評価損	7,571
退職給付引当金の増減額(△は減少)	41,498
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,147
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,908
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,044
受注損失引当金の増減額(△は減少)	18,665
受取利息及び受取配当金	△1,844
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△28,766
売上債権の増減額(△は増加)	316,019
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78,049
仕入債務の増減額(△は減少)	△93,384
未払費用の増減額(△は減少)	39,755
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,538
その他	△55,786
小計	413,435
利息及び配当金の受取額	1,841
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	405,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△24,094
無形固定資産の取得による支出	△4,700
敷金の回収による収入	24,467
その他	△1,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△18,688
配当金の支払額	△115,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,168
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	265,304
現金及び現金同等物の期首残高	3,063,126
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	734,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,063,158

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期比の記載を省略しております。

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	4,050,252	—
情報システムサービス等	154,151	—
合計	4,204,403	—

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	3,194,926	—	1,694,925	—
情報システムサービス等	45,599	—	116,004	—
合計	3,240,526	—	1,810,929	—

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	3,970,637	—
情報システムサービス等	154,151	—
合計	4,124,789	—

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当第2四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株野村総合研究所	—	—	1,479,746	35.9
株エヌ・ティ・ティ・データ	—	—	449,921	10.9

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。